

事務事業実績測定調書

R5調書番号 628

事務事業名称	産業廃棄物指導等事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	環境部			課	環境指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名	26-1.産業廃棄物等の適正処理の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2013 (H25) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する規則、枚方市産業廃棄物の不適正な処理の防止に関する条例、枚方市産業廃棄物の不適正な処理の防止に関する規則、枚方市一般廃棄物再生利用業の指定に関する規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	産業廃棄物を処理する事業者			
	サブターゲット	産業廃棄物を排出する事業者			
	ターゲットが抱える課題	引き続き排出事業者により産業廃棄物の適正処理が図られるためには継続した指導が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	産業廃棄物を処理する事業者による法令等に従った産業廃棄物の適正処理の徹底が図られている。				
事業概要	産業廃棄物処理業者に対し、適正処理に係る指導を行う。廃棄物処理法及び自動車リサイクル法に基づく許可等に係る事務を行う。 多量排出事業者に対しては、計画書の提出及び実績の報告を求め、産業廃棄物の排出抑制に向けた取組について指導を行う。また、法令に基づく各種届出等の受理及び公表等を行う。 事業活動に伴い産業廃棄物を生ずる事業場の外において、事業者自らが当該産業廃棄物の保管を行おうとすると、その面積が一定の規模以上のときは届出書の提出を求める。 PCB廃棄物及びPCB使用機器は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法により処理完了期限までに処理することが定められている。PCB廃棄物及びPCB使用機器を保有する事業者に対し、期限内に処理を行うよう指導する。 産業廃棄物の野積みや不法焼却の不適正処理の防止に向け、監視活動及び指導等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
						産業廃棄物を処理する事業者による法令等に従った産業廃棄物の適正処理の徹底が図られている。				産業廃棄物を処理する事業者に対し、適正な処理に係る指導を行う。							
指標設定	指標説明					立入検査を行った産業廃棄物処理業者数				産業廃棄物処理業者数							
	単位				者		単位				者						
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値									R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)								18	18	20	19	18	18	20	19
		実績								8	17	19	19	18	18	19	19
達成度						100%				100%							

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						多量排出事業者による法令等に 従った産業廃棄物の適正処理の 徹底が図られている。				多量排出事業者に対しては、計画 書の提出及び実績の報告を求め、 産業廃棄物の排出抑制に向けた 取組みについて指導を行う。			
指標 設定 ②	指標説明					計画書及び実施状況報告書を提出 した多量排出事業者数				多量排出事業者数			
	指標種類					単位				者			
	指標数値					R2				R2			
	目標 (見込み)					50				50			
	実績					55				55			
	達成度					88%				112%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						PCB廃棄物を保管する事業者による 適正な保管及び期限内処理が 行われている。				PCB廃棄物を保管する事業者に 特別措置法に基づく保管及び処 分状況等届出を提出するように指 導する。			
指標 設定 ③	指標説明					PCB廃棄物の保管事業者からの 保管及び処分状況等届出数				PCB廃棄物の保管事業者数			
	指標種類					単位				件			
	指標数値					R2				R2			
	目標 (見込み)					137				137			
	実績					136				136			
	達成度					50%				150%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.97
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	22,033	22,186	23,448		
	会計年度任用職員	5,590	4,173	4,127		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	27,623	26,359	27,575		
	物件費計	94	10	1,385	2,067	67.0%
歳出計		27,717	26,369	28,960		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	94	10	263	276	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	489	595	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	94	10	752	871	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	633	1,196	

5. 総括的分析

総括的分析	・すべての産業廃棄物処理業者に対し、立入検査を行い、適正な処理が行われていることを確認した。 ・すべての産業廃棄物の多量排出事業者から、計画書の提出及び実績の報告を受け、法律に基づきホームページに公表した。 ・PCB廃棄物を保管する事業者に対し、処理期限内に処理を行うよう指導するとともに、すべてのPCB廃棄物保管事業者から届出を受理した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、産業廃棄物処理業者に対し、立入検査を行って、適正処理に係る指導を行うとともに、排出事業者及びPCB廃棄物保管事業者に対しては、届出の提出を求め、産業廃棄物の適正処理について指導する。また、当該事業を遂行できる人材育成を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 629

事務事業名称	環境影響評価届出審査事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	環境部			課	環境指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1993(H5)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市環境影響評価条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	環境影響評価審査会				
事業対象	メインターゲット	環境影響評価対象事業(比較的大規模な開発事業等)を実施しようとする事業者			
	サブターゲット	環境影響評価対象事業(比較的大規模な開発事業等)によって影響をうける恐れのある住民。			
	ターゲットが抱える課題	然るべき手続き等の不備により生活環境への影響が引き起こされる。			
	ターゲットが抱える課題	条例に基づいた手続きの履行を確保するとともに、適正な審査を実施する必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境影響評価対象事業を実施しようとする事業者が適正な環境影響評価を実施することで、環境の保全、及び市民の良好な生活環境の確保が図られている状態。				
事業概要	枚方市環境影響評価条例に基づく届出の受理及び審査を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			受け付けた手続・届出等について 適正な指導・審査を行う。				環境影響評価の手続・届出を受け付ける。			
指標設定	指標説明		環境影響評価届け出指導、審査 件数 (方法書及び準備書に限る。)				環境影響評価届け出受理件数 (方法書及び準備書に限る。)			
			単位				単位			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		1	1	3	3	1	1	3	3
	実績		0	2	1	1	0	2	1	1
達成度			33%				33%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.42
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	14.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,250	10,546	11,211		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	266	133	133		
	人件費計	8,516	10,679	11,344		
	物件費計	112	63	30	451	6.7%
歳出計		8,628	10,742	11,374		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		112	63	30	451	

5. 総括的分析

総括的分析	第2種対象事業の方法書について、枚方市環境影響評価条例に準拠した手続きにより1件の届出を受けた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	枚方市環境影響評価条例に基づく手続きや届出等について、適正な指導、審査並びに審査会の適正な運営を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 630

事務事業名称	光化学スモッグ対策事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	環境指導課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2			R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業		区分	一般事務事業	
事業期間	不明			年度	～	年度まで		
根拠法令等	大阪府大気汚染緊急時対策実施要綱、大阪府オキシダント(光化学スモッグ)緊急時対策実施要領							
関係補助金名称					サンセット			～
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	光化学スモッグ情報が発令されたときに、屋外で活動或いは活動しようとする者。						
	サブターゲット							
	ターゲットが抱える課題	光化学スモッグを原因とする健康被害を防止する。						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	光化学スモッグ情報が発令された際に、防災行政無線や発令通知メール等を通じて、関係機関への伝達や市民への周知を迅速かつ確実に行い、対象者の認識、退避行動につながっている状態。							
事業概要	・大気汚染常時測定局で測定した大気汚染の状況を大阪府に提供する。 ・光化学スモッグ予報等が大阪府から発令された場合に、周知事項等を関係機関、市民にすばやく伝達する。 ・被害にあった者に対し、医療費の支給の措置を講じる。							

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		光化学スモッグによる被害が防止できている。	対象者の認識、退避行動につながる。	光化学スモッグ情報が発令された際に、防災行政無線や発令通知メール等を通じて、関係機関への伝達や市民への周知を迅速かつ確実に行う。
指標設定	指標説明	光化学スモッグによる被害者数(前年比増減)	光化学スモッグによる被害者数	光化学スモッグの発令周知回数
		単位 人	単位 人	単位 回
	指標種類	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	0 0 0 0	0 0 0 0	4 7 7 7
	実績	0 0 0 0	0 0 0 0	7 0 0 2
達成度				171%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	471	391	395		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	471	391	395		
	物件費計	0	0	0	1	0.0%
歳出計		471	391	395		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	1	

5. 総括的分析

総括的分析	大阪府オキシダント(光化学スモッグ)緊急時対策実施要領に基づき、光化学スモッグ予報等発令における措置を関係期間に伝達・連絡する体制を5月から10月まで整えた。また、光化学スモッグ発生期前に広報ひらかた5月号及び市公式SNS等並びに市施設へのチラシの配架により啓発を実施した。なお、令和5年度においては、3年振りに光化学スモッグ情報(2回とも予報)の発令があったが、健康被害は確認されず、また情報について適切かつ迅速な広報ができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	安全で良好な生活環境が確保され、維持していくために引き続き、光化学スモッグ情報の発令時における措置及び周知事項の伝達・連絡を迅速に行うとともに、引き続き適切な光化学スモッグに係る啓発の情報発信に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 631

事務事業名称	公害苦情相談事務												
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部				課	環境指導課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2			R3			R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	公害関連法令				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生活環境において公害被害や不安を抱える市民。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	当事者間のやりとりだけでは、感覚的な相違により解決まで長期化する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	発生源者による原因除去、または申立者との間で意思疎通と歩み寄りが促進され、双方の納得いく解決案に至る。				
事業概要	・水質汚濁や騒音等の典型7公害にかかる苦情・相談を受付し、原因の究明に努め、解決を図る。 ・典型7公害に伴う規制対象にはならない相談に対し、説明等により、相談者の理解を得る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
		発生源者による原因除去、または 申立者との間で意思疎通と歩み寄 りが促進され、双方の納得いく解 決案に至る。				苦情に対し、適切な対応を行う。				水質汚濁や騒音等の典型7公害に かかる苦情を受け付ける。								
指標 設定	指標説明		水質汚濁や騒音等の典型7公害に 係る苦情および規制対象外となる 相談における解決率 【算出式: 対応件数／受付件数× 100】				水質汚濁や騒音等の典型7公害に かかる苦情の対応件数				水質汚濁や騒音等の典型7公害に かかる苦情の受付件数							
			単位		%				単位		件				単位		件	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標							
	指標 数値			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
		目標 (見込み)		100	100	100	100	114	168	168	168	114	168	168	168			
		実績		100	100	100	100	168	130	121	98	168	130	121	98			
	達成度		100%				58%				142%							

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		発生源者による原因除去、または 申立者との間で意思疎通と歩み寄りが促進され、双方の納得いく解決案に至る。				典型7公害に伴う規制対象にはならない相談に対し、相談者の理解が得られるよう努める。				典型7公害に伴う規制対象にはならない相談を受ける。				
指標設定②	指標説明		水質汚濁や騒音等の典型7公害に係る苦情および規制対象外となる相談における解決率 【算出式: 対応件数／受付件数×100】				典型7公害に伴う規制対象にはならない相談に対し、相談者の理解が得られた件数				典型7公害に伴う規制対象にはならない相談件数			
			単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	100	100	100	100	22	34	34	34	22	34	34	34
		実績	100	100	100	100	34	34	11	41	34	34	11	41
	達成度		100%				121%				79%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.29
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,214	10,546	10,185		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,214	10,546	10,185		
	物件費計	96	69	62	99	62.6%
歳出計		10,310	10,615	10,247		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		96	69	62	99	

5. 総括的分析

総括的分析	典型7公害に関する苦情が98件、典型7公害以外の苦情41件について、適切に対応し全案件について解決に至った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、安全で良好な生活環境を確保するため、市民等からの相談に対し、早急な対応により、市民等の不安解消に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 632

事務事業名称	公害調査事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	環境指導課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、騒音規制法、振動規制法				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内に在住、在職する市民。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	環境に関する状況を正確に把握し、環境に対する市民に必要な情報を提供する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	生活環境の情報が、正確に、かつ継続的に提供されることで、市民が安全で安心した生活を送れている。				
事業概要	・騒音振動測定 環境騒音測定24地点、道路騒音・振動調査24地点。 ・ダイオキシン類調査 大気、地下水、土壌の各1地点、河川の水質・底質の各3地点において調査を実施。 ・有害大気汚染物質の常時監視 ダイオキシン類を除く有害大気汚染物質の常時監視。 ・一級水準測量 地盤沈下の状況を把握するため、42の水準点において水準測量を実施。（実施は複数年に1回）				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						生活環境の情報が、正確に、かつ継続的に提供されることで、市民が安全で安心した生活を送れている。				公害に関連する生活環境の情報について各種調査を実施。			
指標設定	指標説明					環境基準等の達成率 【算出式：各事業の達成率/事業件数×100】				目的別公害調査事業の件数			
						単位	%			単位	件		
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	8	9	8	8
	実績					99	99	99	99	8	9	8	8
達成度						99%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.63
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,307	6,328	4,974		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,307	6,328	4,974		
歳入	物件費計	13,351	6,094	6,112	6,786	90.1%
	歳出計	20,658	12,422	11,086		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	1,156	1,444	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	1,156	1,444	
一般財源（物件費に充当されるもの）		13,351	6,094	4,956	5,342	

5. 総括的分析

総括的分析	市域の生活環境の状況を把握するため、毎年度実施する騒音・振動調査、有害大気汚染物質調査及び大気、地下水、土壌及び河川水質並びに底質のダイオキシン類調査を適切に実施した。 令和5年度における達成率99.8%【898.3/900＝99.8（騒音に係る道路に面する地域の測定結果以外、全て達成）】
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、安全で良好な生活環境の確保及び維持のため、各種調査業務を実施する。なお、令和6年度においては、水準測量(3年毎に実施)の実施年であることから、水準測量についても実施する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 633

事務事業名称	公害防止啓発事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	環境指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	自治会や市民団体並びに小中学校の教員及び生徒等。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民が環境等に対する関心をもつ機会がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全ての市民が、環境に関心をもち、市と協働して生活排水対策等に自発的に取り組む状態。				
事業概要	- 自治会や市民団体及び小中学校の教員や生徒等を対象に、水環境の保全等に関する学習会を開催。 - 各種イベントにて、水環境や大気環境に関するパネル展示や体験活動の実施。 - 市ホームページ及び広報、エフエムひらかたを活用した水環境(生活排水対策、河川事故防止)や大気環境(光化学スモッグ、PM2.5情報)についての啓発を実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		全ての市民が、環境に関心を持ち、市と協働して生活排水対策等に自発的に取り組む。				市民が公害防止に関して触れる機会が増える。				公害防止に係る各種啓発イベントを実施。				
指標設定	指標説明	学習会等を通じて生活排水対策等について関心の高まった市民の割合 【算出式： 関心の高まった市民人数/参加人数×100】				学習会等における参加人数				学習会等の開催回数				
		単位	%	単位	人	単位	回							
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	100	100	100	100	150	150	150	150	7	7	7	7
		実績	0	100	100	100	0	145	617	1,122	0	3	7	11
達成度		100%				748%				157%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.21
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	707	625	1,658		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	707	625	1,658		
	物件費計	14	14	0	28	0.0%
歳出計		721	639	1,658		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		14	14	0	28	

5. 総括的分析

総括的分析	令和元年から令和5年5月までの新型コロナウイルス感染症の流行に伴う当該対策に係る規制が緩和され、学習会の開催の方法等について新型コロナウイルス感染症流行前の状態に戻るとともに、環境啓発に係るメニューの追加等の取り組みにより、啓発回数の増加及び参加人員の拡大につながった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き安全で良好な生活環境の確保及び維持のために、市民の環境に対する意識を高め、市民等が環境を意識した行動につながるよう、学習会等の内容について趣向を凝らし充実させ、開催回数や参加人数の増加を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 634

事務事業名称	工場等届出規制指導事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	環境指導課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	大気汚染防止法、瀬戸内海環境保全特別措置法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、土壌汚染対策法、 ダイオキシン類対策特別措置法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律及び各法施行規則 大阪府生活環境の保全等に関する条例、枚方市公害防止条例及び各条例施行規則、特定化学物質の環境への排 出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 枚方市ペット霊園の設置等に関する条例、枚方市土砂埋立て等の規制に関する条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	工場、事業場等の稼働に伴う影響を受ける市民。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	工場、事業場等の法令等に基づく手続き不備や、規制基準の不適合等により引き起こされる生活環境への影響。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業者が各種法令に基づく手続きや規制基準等を継続して遵守することにより、市民の快適な生活環境が確保される。				
事業概要	・公害関係法令等に基づく届出、申請の受理・協議・審査 ・対象事業所立入検査(採水を含む) ・特定建設作業実施届出・石綿含有物の排出等に係る届出の受理・審査 ・排水基準違反工場等に対する基準遵守の指導 ・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく届出等の受理・審査				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			適切な審査の上、事業者が各種法令に基づく手続きや規制基準等を継続して遵守できる。				公害関係法令等に基づく届出、申請を受理する。			
指標設定	指標説明		規制基準等を満足する工場・事業場の件数				公害関係法令等に基づく届出件数			
				単位	件			単位	件	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		3,935	4,342	4,342	4,342	3,935	4,342	4,342	4,342
	実績		5,797	3,497	3,815	3,692	5,797	3,497	3,815	3,692
達成度			85%				85%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						適切な指導の上、排水基準に適合した施設が増える。				排水基準違反工場等に対し、基準遵守の指導を行う。			
指標 設定 ②	指標説明					改善により排水基準を満足した工場・事業所等の件数				工場・事業所等の排水基準に関する違反等の件数			
							単位	件			単位	件	
	指標種類					増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					14	14	14	14	14	14	14	14
	実績					4	8	11	1	6	12	5	2
達成度						7%				186%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	4.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	34,215	31,153	37,896		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	34,215	31,153	37,896		
物件費計		2,136	1,797	2,073	3,631	57.1%
歳出計		36,351	32,950	39,969		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	1,639	816	1,086	1,037	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,639	816	1,086	1,037	
一般財源（物件費に充当されるもの）		497	981	987	2,594	

5. 総括的分析

総括的分析	・公害関係法令等の申請届出の受理及び審査、現場確認を行うとともに、必要に応じて、法令順守に関し届出指導や立入調査等を実施した。届出のペーパーレス化の観点から、メールによる提出を受け付け、適切に対応した。 ・過去に排水基準違反等のあった工場・事業場に重点を置き、排水を確認し、基準値を超過した工場等に対し指導するとともに、適正な処理が行われたことを確認した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き届出規制指導を行うとともに、届出内容の現場での確認及び指導を重視する。事業者に対し、届出のメールによる提出について啓発し、ペーパーレス化に努める。排水基準の違反があった場合の文書による是正指導及び現場確認を継続する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 635

事務事業名称	大気汚染測定局運営業務									
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	環境指導課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	大気汚染防止法(同法施行令)				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内に在住、在職する大気環境基準適合状況等に関心を持つ市民。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	正確な大気環境の情報を知る手段がなく、市民の不安が募る。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	正確な大気環境の情報が、継続的に提供されることで市民の不安が軽減される状態。				
事業概要	窒素酸化物、浮遊粒子物質、微小粒子状物質など大気の常時監視を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			正確な大気環境の情報が、継続的に提供されることで市民の不安が軽減される。				市内大気環境の常時監視を行う。			
指標設定	指標説明		環境基準達成率(大気汚染) 【算出式: 達成件数/測定件数×100】				大気測定局の稼働件数			
				単位	%		単位	局		
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	7	6	6	6
	実績		87	85	85	85	7	6	6	6
達成度			85%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.94
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,128	7,031	7,421		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,128	7,031	7,421		
歳入	物件費計	18,862	20,909	24,619	28,620	86.0%
	歳出計	24,990	27,940	32,040		
	国庫支出金	0	0	0	0	
歳入	府支出金	42	42	53	42	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	7,267	8,238	10,483	13,094	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	7,309	8,280	10,536	13,136	
一般財源（物件費に充当されるもの）		11,553	12,629	14,083	15,484	

5. 総括的分析

総括的分析	市内に設置している大気汚染測定局（一般環境測定局3局、自動車排出ガス測定局2局及び第二京阪道路監視局1局）で、常時監視を適切に実施し、良好化な大気環境が維持されていることを確認した。なお、津田局においては、脱炭素社会を目指す一環として、これまで太陽光発電システムを設置し、消費電力の一部を自己発電で賄うとともに、余剰電力の売電を行っていたが、令和5年度は新たに蓄電池を設置し、夜間における買電量削減による二酸化炭素排出量の削減に努めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、安全で良好な生活環境の確保及び維持のため、大気汚染測定局において、常時監視を行うとともに、測定結果について、迅速かつ正確に公表を行う。なお、精度の高い測定を行えるよう計画的な機器の更新等を行い、測定機器の安定的な稼働に資する。また、津田局においては、太陽光発電システム及び蓄電池による自然エネルギーの利用により、脱炭素社会へ目指す施策に寄与する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 655

事務事業名称	水質汚濁常時監視事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	環境部			課	環境指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	水質汚濁防止法(同法施行令)				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内に在住、在職する水質環境に対する関心を持つ市民。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	正確な水質環境の情報を知る手段がなく、市民の不安が募る。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	正確な水質環境の情報が、継続的に提供されることで市民の不安が軽減されている状態。				
事業概要	・河川調査 環境基準点及び準基準点のほか、独自測定点を設定し、水質調査を実施。 ・地下水調査 概況調査、汚染の継続的な監視を行う継続監視調査等を実施。また、新たに地下水汚染が発見された場合には、汚染井戸周辺地区調査を実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						正確な水質環境の情報が、継続的に提供されることで市民の不安が軽減されている。				河川、及び地下水について、調査を実施。				
指標設定	指標説明					環境基準達成率(本市を代表する3河川(天野川、穂谷川、船橋川)及び地下水の概況調査による。) 【算出式: 達成件数/調査件数×100】				河川、及び地下水における調査件数				
					単位	%		単位	件					
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)					100	100	100	100	6	6	6	6
実績						100	100	100	100	6	6	6	6	
達成度						100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.55
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,164	3,984	4,342		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,164	3,984	4,342		
歳入	物件費計	4,741	4,290	5,349	5,350	100.0%
	歳出計	8,905	8,274	9,691		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		4,741	4,290	5,349	5,350	

5. 総括的分析

総括的分析	市内河川における水質の状況について、測定計画に従い河川調査（船橋川、穂谷川、天野川、藤本川、黒田川、安居川、出口雨水幹線）を実施するとともに、地下水質調査は市内3地点において概況調査を実施した。その結果は、全て基準を満足していることが確認され、良好な生活環境が確保及び維持されている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き安全で良好な生活環境の確保及び維持のため、河川及び地下水の水質調査を行い、安全で良好な生活環境の確保及び維持が図られていることを確認するとともに、測定結果の公表を行う。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 673

事務事業名称	地域環境保全事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	環境指導課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1974(S49)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市住み良い環境に関する条例、枚方市一般旅館及びラブホテルの建築規制に関する条例、枚方市ぱちんこ遊技場の建築規制に関する条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	風俗営業等審査会、環境紛争調整委員				
事業対象	メインターゲット	風俗営業を営むことを目的とした建築物の建設予定地周辺の市民			
	サブターゲット	風俗営業を営むことを目的とした建築物の建設予定地周辺の地域住民(自治会等)			
	ターゲットが抱える課題	ラブホテルやぱちんこ遊技場が周辺に建設されることで、良好な生活環境が阻害されるとともに、地域の青少年の健全な育成が阻害される恐れがある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	禁止区域に風俗営業を営むことを目的とした建築物が建設されず、禁止区域外に建設される場合には、事前に適正な配慮が行われ、周辺の良好な生活環境が確保されるとともに、青少年の健全な育成が阻害されていない状態。				
事業概要	事業者からの問合せや開発行為等の事前協議の際等に、各条例の対象となるぱちんこ遊技場や一般旅館・ラブホテルなどの風俗営業を営むことを目的とした建築物の新築・増築に対し、建築規制の対象となるか審査し、必要な指導を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			各届出に対し、適正な審査を実施する。				「枚方市一般旅館及びラブホテルの建築規制に関する条例」に基づく届出を受け付ける。			
指標設定	指標説明		各届出に対し、審査が完了した件数				届出件数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		1	1	1	1	1	1	1	1
	実績		1	1	0	0	1	1	0	0
達成度			0%				0%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②						各種問い合わせ・相談に対し、適切に処理する。				条例による規制内容に関する問い合わせ・相談を受け付ける。			
指標 設定 ②	指標説明					問い合わせ・相談に対する対応件数				条例による規制内容に関する問い合わせ・相談受付件数			
							単位	件			単位	件	
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					3	3	3	3	3	3	3	3
	実績					1	1	0	0	1	1	0	0
達成度						0%				0%			

3. 人員体制
(人)

	R5実績
正職員	0.17
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額
(千円)

			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,750	2,734	1,342		
		会計年度任用職員	0	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	38	0	0		
		人件費計	2,788	2,734	1,342		
	物件費計		0	0	0	0	
	歳出計		2,788	2,734	1,342		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）			0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度に引き続き令和5年度においても、「枚方市一般旅館及びラブホテルの建築規制に関する条例」及び「枚方市ばちんこ遊技場の建築規制に関する条例」に関する問い合わせ、届出はなかった。このため、附属機関である風俗営業等審査会委員に係る歳出(報酬)はなかった。なお、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関して警察署からの照会に適切に対応した。また、風俗営業等審査会の任期満了による新たな委員への委嘱に係る事務を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き安全で良好な生活環境の確保及び維持のため、「枚方市一般旅館及びラブホテルの建築規制に関する条例」及び「枚方市ばちんこ遊技場の建築規制に関する条例」に基づく適正な事務執行を行うとともに、附属機関である風俗営業等審査会の円滑な運営を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 880

事務事業名称	環境指導課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	環境指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課運営に携わるすべての職員。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課事務の適正な運営を行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	課事務を適正に運営する。				
事業概要	・市議会等に対する調整等 ・行政評価・事務事業に関する事務 ・予算差引、予算決算管理事務 ・給与、休暇等処理事務 ・物品購入、物品管理事務 ・文書管理事務 ・石綿作業主任者技能講習の受講 ・環境指導課所管の車両に係る管理事務 ・消防設備法定点検の実施(委託) ・警備委託 等				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値												
	目標 (見込み)												
	実績												
達成度													

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.91
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,335	13,827	15,079		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,335	13,827	15,079		
	物件費計	1,861	2,028	1,872	3,022	61.9%
歳出計		14,196	15,855	16,951		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	131	157	164	157	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	148	83	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	279	240	164	157	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,582	1,788	1,708	2,865	

5. 総括的分析

総括的分析	・環境指導課所管事務及び各種庶務事務等を適正、かつ、効率的に執行することができた。 ・所管する磯島倉庫について、建物及び設備の維持管理について、適正に執行し、効率的な管理運営を行うことができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、環境指導課における円滑な事務執行に取り組むとともに、所管する磯島倉庫の適正な維持管理に努める。